

ジョルジュ・バタイユ ママン (2004)

MA MERE

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스 エロティック

製作国 フランス

色彩 Color

時間 110分

初公開日 2006/07/01

公開情報 アット エンタテインメント

映倫 R-18

【キャッチコピー】

うつくしい人は墮落を選んだー。

【解説】

20世紀を代表する思想家ジョルジュ・バタイユの遺作『聖なる神』三部作の『わが母』を、「ピアニスト」のイザベル・ユペールと「ドリーマーズ」のルイ・ガレル主演で映画化した問題作。美しい母と息子のスキャンダラスな関係がスリリングに描かれてゆく。監督は「NOVO／ノボ」の脚本を手掛け、これが監督2作目のクリストフ・オノレ。

自墮落な父親と2人暮らしをしている17歳の少年ピエール。ある日彼は、崇拜する美しい母に会うため、スペインのカナリア諸島を訪れる。愛する母と2人だけの時を過ごすことに胸を熱くするピエール。しかし、その母にはピエールが思い描いてきた顔とは別の顔があった。次第に自らの不道德な欲望を露わにしていく母に、ピエールは不安と恐怖を覚えながらも、いつしかエロスと暴力の危険な世界へと引き寄せられていくのだった。

【クレジット】

監督	クリストフ・オノレ	Christophe Honore	
製作	パウロ・ブランコ	Paulo Branco	
	ベルナール＝アンリ・レヴィ	Bernard-Henri Levy	
原作	ジョルジュ・バタイユ	Georges Bataille	『わが母』（二見書房刊 『聖なる神 三部作』 所収)
脚本	クリストフ・オノレ	Christophe Honore	
撮影	エレヌ・ルヴァール	Helene Louvart	
プロダクションデザイン	ローラン・アレール	Laurent Allaire	
出演	イザベル・ユペール	Isabelle Huppert	
	ルイ・ガレル	Louis Garrel	
	エマ・ドウ・コーヌ	Emma de Caunes	
	ジョアンナ・プレス	Joana Preiss	
	ジャン＝バティスト・モンタギユ	Jean-Baptiste Montagut	
	ドミニク・レイモン	Dominique Reymond	
	オリヴィエ・ラブルダン	Olivier Rabourdin	